

# 記載例

## ばい煙関係施設設置（変更）届出書

〇〇年 〇月 〇日

青 森 市 長 様

工事着手の60日前までに届出

届出者 青森市大字〇〇字〇〇111-111  
株式会社 〇〇〇〇  
代表取締役 〇〇〇〇

氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名

青森県公害防止条例第19条第1項（第20条第1項）の規定により、ばい煙関係施設の設置（変更）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇〇〇 青森工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	青森市大字〇〇字〇〇111-111	※受理年月日	
ばい煙関係施設の種類	廃棄物焼却炉	※施設番号	
ばい煙関係施設の構造	別紙のとおり。	※審査結果	
ばい煙関係施設の使用方法	別紙のとおり。	※備考	
ばい煙の処理の方法	別紙のとおり。		

- 備考
- ※印の欄には記入しないこと。
  - 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4縦長とすること。

## ばい煙関係施設の構造

構造変更申請時は、  
左欄に変更前、右欄に変更後を  
記載してください。

工場又は事業場における施設番号		<b>1号</b> ※各事業場での通し番号	
名称及び型式		(メーカー名) (製品名、記号)	
設置年月日	構造変更	年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	新設又は入替	年 月 日	年 月 日
規 模	焼却能力 (kg/h)	<b>150</b>	
	火格子面積 (㎡)	<b>1.2</b>	

- 備考
- 1 設置届出の場合には、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
  - 2 ばい煙関係施設の**構造概要図**を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格  
A4縦長の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

## ばい煙関係施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		1号			
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	○時～ ○時 ○時間/回 回/日 ○日/月		時～ 時 時間/回 回/日 日/月	
	季節変動	なし 又は 冬期間を除く (4月～11月) など			
原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類	木くず			
	原材料中の成分割合 (%)	灰分	硫黄分 0.01	灰分	硫黄分
	1日の処理量 (トン)	0.5			
燃料	種類	灯油			
	燃料中の成分割合 (%)	灰分 0.1	硫黄分 0.01	灰分	硫黄分
	発熱量	15000kcal			
	使用量 (l/h)	定格 40.0	通常 32.0	定格	通常
	混焼割合	混焼 (原材料:燃料=○:○)			
排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	湿り	最大 6543	通常 5432	最大	通常
	乾き	最大 5432	通常 4321	最大	通常
排出ガス温度 (°C)		450			
排出ガス中の酸素濃度 (%)		12			
ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	最大 0.10	通常 0.08	最大	通常
	硫酸酸化物 (容量比ppm)	最大 300	通常 300	最大	通常
ばい煙量	硫酸酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大 0.4	通常 0.3	最大	通常
参考事項					

- 備考 1 原材料及び燃料中の成分割合 (%) の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 4 ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設については、参考事項の欄に一工程中の排出量の変動の状況を記載すること。

## ばい煙の処理の方法

ばい煙処理施設の工場又は事業場における 施設番号		1号 (ばい煙関係施設の通し番号)			
処理に係るばい煙関係施設の工場又は事業場 における施設番号		1号 (処理施設の通し番号)			
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式		サイクロン集じん機			
設置年月日	処理施設の構造変更	年 月 日	年 月 日		
着手予定年月日	処理施設の新設又は更新	年 月 日	年 月 日		
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日		
処 理 能 力	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	6543		
		通常	5432		
	排出ガス温度 (°C)	処理前	800		
		処理後	450		
	ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	処理前	0.25	
			処理後	0.08	
		いおう酸化物 (容量比ppm)	処理前	300	
			処理後	300	
	ばい煙量	最大	処理前	0.4	
			処理後	0.4	
		通常	処理前	0.4	
			処理後	0.4	
捕集効率 (%)	ばいじん	75			
	いおう酸化物				
使用状況	一日の使用時間及び月使用日数等	○時 ~ ○時 ○時間/回 回/日 ○日/月	時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月		
	季節変動	なし 又は 冬期間を除く (4月~11月) など			
排出口の実高さ	Ho (m)	10.5			
補正された排出口の高さ	He (m)	10.6			
排出速度	(m/s)	15.25			

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とする。
- 3 補正された排出口の高さHeは、青森県公害防止条例施行規則第4条第2項の算式により算定すること。
- 4 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

# 参 考 事 項

## ◎事業場

工場・事業場名	(フリガナ) 株式会社 青森工場	施設名	廃棄物焼却炉
業種(産業分類コード)	※総務省が定義する日本標準産業分類による分類 (大、中)		
担当部署・担当者名	届出者又は届出者が法人の場合の管理責任者		TEL FAX
緊急時連絡先	担当部署 担当者	TEL FAX	
施工業者等連絡先	下請施工業者が別にいる場合はその連絡先も		TEL FAX

## ◎施設

項 目	数 値 等	
使用する燃料	A 重油・灯油・その他 ( )	木くず・タイヤ・その他 ( )
最大燃焼能力	71.2 (ℓ/h・m <sup>3</sup> /h) ※液体燃料はℓ/h、気体燃料はm <sup>3</sup> /h	150 (kg/h・t/h) 固体燃料はkg/h 又は t/h
燃料の比重	0.986	1
いおう分	0.01(%)	0.01(%)
バーナーの空気比	12	12
最大排出ガス量	湿りガス 6543 (Nm <sup>3</sup> /h)	乾きガス 5432 (Nm <sup>3</sup> /h)
排出ガス温度	450 (°C)	
煙突	使用形態	単独使用・共用 ( 号と共用)
	傘	有り ( 陣笠・フード・H形 ) ・無し
排出口	形状	丸型 (直径 0.4 m ÷ 2) <sup>2</sup> × 3.14 = 0.1256 m <sup>2</sup>
		角型 m × m = m <sup>2</sup>
	高さ	10.6 (m)
測定口	位置	屋内・屋外 高さ 2 m
	足場	有り・無し
ばい煙処理施設の有無	バグフィルター・サイクロン・その他 ( ) ・無し	
備考(変更内容等)		